

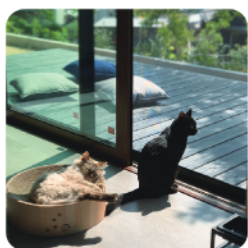
卒業生レポート

児玉和子さん(昭和47年 教育学部中学校教員養成課程数学科卒業)



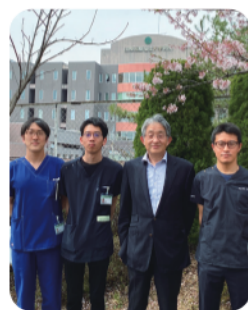
大学卒業後、都城市から五ヶ瀬町まで7回引越ししながら、県内の小・中・特別支援学校に36年間勤務。退職後、新富町適応指導教室指導員を4年、その後新富町教育委員になり6年目です。退職後も小中学生に関わる機会が多く、張り合いのある幸せな生活を送っています。退職後は海外へ18カ国旅行しました。「好奇心」と思い切り」が大事です。2020年1月に孫たちとのグアム旅行の直後にコロナが世界を席巻など激動の時代になり、平和な日常を望む日々です。

鮫島有さん(平成28年 医学部看護学科卒業)



卒業後看護師として働きだし、早6年が経ちました。現在は精神科に勤めています。大学受験前、両親に看護師は向いていないと再三言われ、自分でも「向いてないな～」と思いながら気付けば7年目となりました。まだこの仕事が好きと思う瞬間には出会えていませんが、自分とは全く違う境遇で生きてきた人達の背景に触れられるのは中々贅沢なことだと日々感じています。良くも悪くも刺激的な毎日です。

東野哲也さん(昭和56年 宮崎医科大学卒業)



2期生として宮崎医科大学に入学して46年、宮崎をベースにした耳鼻咽喉科診療と新しい難聴医療の構築に人生の大半を捧げて参りました。昨年末に宮崎大学を定年退職し、縁あって那須塩原の国際医療福祉大学病院に勤務しております。本院は国際医療福祉大学に設置された最古参の大学病院ですが、ありがたいことに耳鼻咽喉科は宮崎大学同窓4名の医師でチームを組んでおります。宮崎大学耳鼻科の関連(御用邸?)病院として、宮崎で培った難聴診療体制を関東で根付かせたいと張り切っております。

みなさん、卒業後、どのような人生を送っているのでしょうか。様々な分野で活躍している方や趣味を楽しんでいる卒業生をピックアップしました！



原田佳彦さん(平成31年 工学研究科環境口ロボティクス学専攻修了)



大学院卒業後、鉄道関係のシステムに関わる会社に就職して3年ほどたちます。大学生活より短い間ですが、就職、勤務先のグループ再編、更にはCOVIDなど、様々な変化への対応を求められた大変な時期だったと感じています。近頃はニューノーマルが定着し、社会的には落ち着きを取り戻しつつありますが、その反面なのか、自分の知識と実践力不足を感じることも多くなりました。大学で学んだことを基礎として、社会人としても、趣味でも様々な学びを重ねていくことが大切だと実感しているこの頃です。

鎌田和實さん(昭和51年 農学部林学科卒業)



私は、卒業後大阪の中堅木材輸入会社に就職、33年間駆け足で勤めて独立、3年目に法人化で第二の人生を迎えて13年目。コロナ禍、ウッドショック、超円安と木材市場の先が見えず、より緩やかとなった生活の中で、長年痛めていた両膝手術とリハビリの入院で、体重も減り、より健康体となりました。同じ痛みを持つ妻と、毎日リハビリを兼ねての散歩で新たな2人3脚を感じています。社会貢献に励むべく同窓会や管理組合等に積極的に参加し、人生終わってなんぼと誇れるように頑張りたい。

中村勇輝さん(令和3年 地域資源創成学部地域資源創成学科卒業)



大学卒業後、地元宮崎県日南市の市役所にて働かせていただいています。配属部署は観光・スポーツ課で、主にクルーズ船対応の仕事をしていただいています。まだ仕事が始まり2か月ですが、につぼん丸(日本船)の寄港対応やカーフェリー「たかちほ」の見学など、様々な経験をさせていただいています。社会人として慣れない仕事が多いですが、大学時代の学びを活かし、少しでも日南市に貢献できる仕事をしていきたいと思っています。



本学に在籍する教職員・学生について幅広く紹介することを目的とした連載記事「宮崎大学のひと」を、本学ホームページに掲載しています。是非ご覧ください。

編集発行 国立大学法人宮崎大学同窓会連合会事務局 〒889-2192 宮崎市園木花台西1丁目1番地
TEL(0985)58-7790 E-mail: dousou-rengo@of.miyazaki-u.ac.jp 令和4年8月発行



宮崎大学のひと 検索



宮崎大学同窓会連合会ホームページ 宮崎大学 同窓会連合会 検索

宮崎大学同窓会 連合会だより

vol.12



ご挨拶



宮崎大学同窓会連合会
会長 井上 康雄

卒業生の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

宮崎大学においては、新型コロナウイルス禍の中で色々工夫を凝らしながら対面講義、実習等が実施されています。

その一方で、県内外の関係者や多くの卒業生から厳しい環境下にある大学や学生に対して

●教育活動への支援 ●福利厚生への支援 ●就職活動への支援
等を頂いていることを深く感謝申し上げます。

宮崎大学同窓会連合会におきましては、数年前から学部の垣根を越えての交流活動の一つとして「宮崎大学ホームカミングデイ」を開催していますが、昨年に引き続き令和4年度のホームカミングデイは、新型コロナウイルス(変異株)が未だに全国各地で収まる気配もなく県外往来も厳しい状況下にあるため、今年も中止せざるを得ないことを同窓会連合会の総意として決定致しました。

本当にこの行事を楽しみにされている卒業生の皆様には大変申し訳ありませんが、次年度(令和5年)の開催に向けて更なる創意工夫をして賑わいのある行事を計画する所存でございますので、何卒ご理解を賜り変わらぬ宮崎大学及び学生への一層のご支援の程、宜しく申し上げます。

令和4年度宮崎大学ホームカミングデイの開催中止について

例年秋に開催しております「宮崎大学ホームカミングデイ」につきまして、新型コロナウイルス感染症の状況が未だ予断を許さないことから、昨年に続き、開催を見送ることといたしました。ホームカミングデイへの参加を楽しみにされていた皆様には、大変申し訳ありませんが、参加者の安全及び感染拡大防止を最優先に考えての決定に、ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



宮崎大学基金(一般基金)の寄附特典が変わります！

宮崎大学では、基金活動を通して、本学の研究成果や取り組みを知ってもらうこと、さらには卒業生との繋がりや連携を深めることを目的に、「宮崎大学オリジナル返礼品」の準備を進めています。「宮崎大学オリジナル返礼品」は、研究成果や産学連携活動により開発・製品化された大学関連商品のほか、学生・卒業生が開発・製造に携わった卒業生関連商品も準備する予定です。決定次第、HPにてご案内いたします。

今後も、宮崎大学基金を有効に活用し、学生支援、教育研究活動等の一層の充実を図って参りますので、皆様からの温かいご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い致します。



詳しい内容はHPで！

宮崎大学基金 検索

修学支援事業基金による活動状況

○食料品を無料配付しました(令和3年7月2日)

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて生活が困窮する学生を支援することを目的に、木花キャンパスおよび清武キャンパスにて、合計600人分の食料品セットを無料で提供しました。

本企画は、宮崎大学生生活協同組合様による寄附、本学災害用備蓄品の提供、また、修学支援事業基金を活用することで実現しました。

受け取った学生からは「食費を少しでも節約できるのでとてもありがたいです」との声をいただきました。



受け取りの様子

○「学生向け100円弁当」を900食販売しました(令和3年10月20日)

宮崎大学に在籍する学生を対象とした修学支援事業の一環として、宮崎大学生生活協同組合様と附属図書館に併設したライブラリーカフェ「ニコマルカフェ」を運営する株式会社デイリーマーム様と連携して実施したもので、通常のお弁当代金から100円を差し引いた金額を本学が持つ修学支援事業基金を財源として負担することで実現しました。お弁当を購入した学生からは「一人暮らしということもあり、生活費の負担が大きいなか、100円弁当の販売は食費の節約になるので大変助かる」と喜びの声がありました。



販売コーナーの様子

○「学生向け100円弁当第2弾」を1,160食販売しました(令和3年11月10日)

「学生向け100円弁当」の第2弾を実施し、1,160食が30分で完売しました。2回目の注目弁当である限定50食の「コロナに勝つカレー」(カツの大きさが通常の1.5倍)は販売開始前から行列ができ、わずか3分で売り切れとなりました。お弁当を購入した学生からは「月に1回でもこういった支援があると大変助かります。今回は限定カレーが売り切れのため、食べることができなかったが、次回は是非味わってみたい」と喜びの声がありました。



コロナに打ち勝つカレー

○食料品とマスクの詰め合わせを1,400人分配付しました(令和3年12月17日)

コロナ禍における学生の生活面での不安を少しでも取り除いてもらうことを目的に、修学支援事業基金に加え、(1)宮崎県生活協同組合連合会様、(2)宮崎大学生生活協同組合様、(3)宮崎県農協果汁株式会社様、(4)株式会社エコープみやざき様からのご厚意により、2回目となる食料品等の配付が行われました。

春日圭太さん(工学研究科1年)は「思ったよりもたくさん入っていた。今回はパスタやお米なども入っていてとても嬉しい」、木村明倫さん(工学部3年)は「友人でもアルバイト収入などが減っている人が多く、このような支援は私たち学生にとってとても助かります」とコメントを寄せてくれました。



受け取った学生



配付された食料品など

学部別同窓会の活動報告・お知らせ



教育学部同窓会(木犀会)

●新霊合祀慰霊祭・規模を縮小して開催しました

○日時 令和3年10月30日(土)
○会場 木犀会館 11名参加



●学生支援事業・教員採用2次試験対策指導

○日時 7月29日(木)、8月3日(火)の2日間
○参加学生 およそ80名



工学部同窓会

●宮崎大学基金へ100万円(工学部学生の教育支援)を寄贈

10月13日、宮崎大学工学部同窓会から宮崎大学基金へ100万円の寄附の贈呈式が執り行われました。鮫島学長から「学生の支えになるよう有効に使わせていただきます」と謝辞が述べられました。



●「2022年版みやざき就勝ガイド」発行・配布

12月6日から理事を通じて学科毎にガイドブックの掲載企業を学生の皆様及び保護者の皆様に理解度を深める説明をし、配布いたしました。



宮崎大学医学部看護学科同窓会

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講演会および懇親会の開催を見合わせ、広報誌の発行や同窓生のネットワーク作りにより注力いたしました。今年度も新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑みて、オンラインでの活動内容や方法を検討し、同窓の皆様の多様な交流の場づくりを企画・運営してまいります。

同窓会の活動および情報をお伝えしますので、下記HPにも是非アクセスをお願いいたします。↓ ↓

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/kangoalumni/>

農学部同窓会(船塚会)

●令和3年度同窓会主催の「卒業生歓送会」は中止し、学科毎に行われた卒業証書、修了証書授与式時に13名の学業優秀学生に対して「同窓会長表彰」を行い、全員に記念品を配布しました。令和4年度農学部、同窓会共催の新入生歓迎会は大学全体の入学式終了後に実施し、農学部長の歓迎の挨拶、同窓会長の激励の挨拶、新入生代表謝辞、最後に記念写真の撮影を行い、終了後に、記念品を配布しました。



令和4年度新入生歓迎会



新入生代表謝辞

●令和4年度の通常役員総会を5月21日(土)、ホテルメリージュで開催しました。今年の総会は、県外を除く県内の代議員で実施し、昨年度実績並びに本年度の計画、予算案並びに新役員体制など承認議決されました。



令和4年度通常役員総会

一般社団法人 宮崎医科大学・宮崎大学医学部医学科同窓会(篠懸会)

4月19日に「役員と学生代議員との懇話会」が開かれました。この懇話会は2018年から開催され、役員6名と学生会、国試対策委員、学祭、音楽祭、新歓実行委員、サークル委員の各代表が参加し意見を交える場となっています。学生からの意見に対して、役員からは学生時代の部活動や委員会の事、学生生活を円滑に過ごせるよう取組んだ経験談に笑い起こる場面もあり、和やかな雰囲気の中、活発に議論されました。



●令和4年度 講演会・懇親会開催のお知らせ
【日時】令和4年10月1日(土) 17:00～
【場所】宮崎観光ホテル
詳細はHP
<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/suzukakekai/>

地域資源創成学部同窓会

令和3年度も前年度同様、新型コロナウイルスの影響で大規模な活動は実施することはできませんでした。

3期生が卒業してできた新たな業種のつながりを活かしながら今年度の活動に取り組んで参ります。

【予定活動等】
・卒業生・在学生オンライン相談会
・同窓会内での近況報告(電子版)の作成

